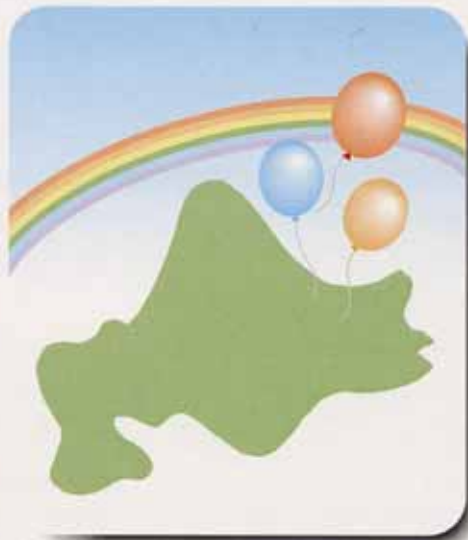


# 学ぶ 拓く 北の大地

## 第2次北海道生涯学習推進基本構想



## 第2次北海道生涯学習推進基本構想とは

今後概ね10年間の北海道の生涯学習推進施策の指針であるとともに、道民、市町村、教育機関、関係団体、民間教育事業者などに対して生涯学習の推進に積極的な参画と協力を求めていくためのものです。

## 生涯学習とは

生涯学習とは、一人一人が自分の人生を楽しく豊かにするために、生涯のいろいろな時期に、自由な意思に基づき、自分に適した手段・方法によって、生涯にわたって行う学習活動です。

豊かで活力ある社会を築いていくために、「人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」ような生涯学習社会の構築が重要です。

## 生涯学習が必要とされる社会的背景

- ①社会や経済の変化に伴い、絶えず新しい知識・技術を習得することが必要となっています。
- ②自由時間の増大や高齢化などに伴い、心の豊かさや生きがいのための学習を求める人が増えています。
- ③形式的な学歴によらず、生涯の各時期の学習の成果が適切に評価される社会づくりが求められています。





## 21世紀の時代潮流

### ■ グローバル化の進展とアイデンティティの確立

経済をはじめとする諸活動が地球規模で広がりを見せるグローバル化が進展する中、異なる歴史や文化などについて理解を深めるとともに、我が国の歴史や文化・伝統を踏まえ、進んで国際社会で活躍し、信頼関係を築くことができるような人材を育成することが重要となっています。

### ■ 科学技術・高度情報化の進展と「知識社会」化

様々な情報や知識が誰にとっても身近なものとなっていくとともに、高い付加価値性を帯びた知的サービスが社会において果たす役割の重要性が高まり、絶えず知識や技術を新たにしながら問題を把握し、解決することのできる人材が求められています。

### ■ 持続可能な社会の構築

環境の恵沢を現在及び将来の世代が享受できるよう環境問題について一人一人の関心を高め、活力ある持続可能な社会の構築に向けた具体的な行動に踏み出すことが望まれます。

### ■ 少子高齢化社会の進行と家庭・地域の変容

我が国の人口構造は急速に少子高齢化の度合いを強め、家庭の教育力や地域の教育機能の低下が一層深刻化すると考えられます。

### ■ 意識の変容と市民活動の台頭

個人や団体が地域社会で行うボランティア活動などのように、互いに支え合う互恵の精神に基づき、社会的課題の解決に貢献する市民活動が一層広がりを見せることが予想されています。

## 北海道の特性と可能性

雄大な自然と広大な土地を持つ北海道には、開放的な気風や自立と協働の精神風土といった道民性が根付き、産業発展の核となりうる豊かな潜在能力、風土と歴史に培われた独自の技術やノウハウの蓄積があります。  
道民一人一人が郷土に誇りと愛着を持ち、北海道の持つ地域特性や可能性を最大限に生かし、北海道らしさを大切にしたい生涯学習社会の実現を目指して行くことが求められています。

学習成果を活用し、各人が社会の形成に主体的に参画し、「地域づくり」、「人づくり」を進めます。

## 北海道らしい生涯学習社会の実現に向けての基本的方策

### 明日の北海道を支える人づくり

ライフステージに応じた多様な学習機会や学習の場の確保・充実により、北海道の潜在能力を十分に発揮しながら資源の創造的活用を図るチャレンジ精神旺盛な人材の育成など、明日の北海道を支える人づくりを進めます。

- (1) 家庭教育の充実
  - ① 家庭教育の向上
  - ② 支援体制の充実
- (2) 学校教育の充実
  - ① 豊かな心を育てる教育の推進
  - ② 開かれた学校づくりの推進
  - ③ 特色ある学校づくりの推進
  - ④ 教育資源の効果的活用
- (3) 社会教育の充実
  - ① 青少年教育の充実
  - ② 成人教育の充実
  - ③ 高齢者教育の充実
  - ④ 体験活動の推進
  - ⑤ 地域の教育力の活性化
- (4) 職業教育及び職業能力の向上
  - ① 職業教育の推進
  - ② 職業能力の向上



### 北の大地における地域づくり

学習活動を通して地域課題への関心を高めるとともに、その学習成果を生かし地域課題への解決に向け住民が力を合わせ主体的に行動する力を育み、個性と活力に満ちた地域づくりを進めます。

- (1) 健康づくり、スポーツ活動の推進
  - ① 総合的な健康づくりの推進
  - ② 多様な生涯スポーツの推進
- (2) 文化活動の推進
  - ① 文化活動の充実
  - ② 文化財の保存、活用、継承
  - ③ 企業の文化活動への参画
- (3) 現代的課題に関する学習活動の推進
  - ① 国際化に対応した学習活動の推進
  - ② 情報化に対応した学習活動の推進
  - ③ 環境に関する学習活動の推進
  - ④ 男女平等参画に関する学習活動の推進
  - ⑤ 消費生活に関する学習活動の推進
  - ⑥ 安全に関する学習活動の推進
  - ⑦ 人権・福祉に関する学習活動の推進
  - ⑧ 社会の変化に対応した学習活動の推進
- (4) NPO・ボランティア活動の充実
  - ① NPO・ボランティア活動の推進
  - ② NPO・ボランティア活動のための条件整備
- (5) 生涯学習による地域づくりの推進
  - ① 地域コミュニティの充実



### 生涯学習における北海道スタンダードの構築

北海道らしい生涯学習社会を実現するため、生涯学習の推進体制の整備や北海道独自の生涯学習システムの構築など、学習環境を総合的に整備していきます。

- (1) 学習情報の提供及び学習相談体制の整備・充実
  - ① 多様な学習情報の提供
  - ② 学習相談の充実
  - ③ 学習情報のデータベース化、ネットワーク化
- (2) 指導者(学習支援者)の養成・活用
  - ① 指導者(学習支援者)の養成・確保
  - ② 民間指導者の養成・活用
- (3) 生涯学習関連施設の整備・充実とネットワーク化
  - ① 施設の整備・充実
  - ② ネットワークの構築
- (4) 学習成果の評価と活用
  - ① 評価制度の確立
  - ② 活用場の開発
- (5) 団体活動と民間教育事業の振興
  - ① 団体活動の振興
  - ② 民間教育事業の振興
- (6) 生涯学習を総合的に推進する拠点の整備・充実



## 構想の実現のために

### 道の役割

- ・道民の生涯学習に関する機運を醸成します。
- ・学習者の視点に立った効果的な施策を展開します。
- ・ITを活用した生涯学習の環境づくりを進めます。
- ・北海道立生涯学習推進センターの機能の充実を図ります。

### 市町村の役割

- ・生涯学習推進体制を整備しましょう。
- ・地域住民の声を聞き、住民と協力して生涯学習を進めましょう。
- ・地域住民の自主的・主体的な取組を支援しましょう。

### 民間への期待

- ・企業は、従業員ボランティア活動等、地域社会への貢献活動を促進しましょう。
- ・高等教育機関は、高度で専門的な内容の学習機会を提供しましょう。
- ・各種団体は、団体間の連携を図り、活動を発展させましょう。

### 道民の取組

- ・身近なところから生涯学習に取り組みましょう。
- ・生涯学習の成果を認めましょう。
- ・学習した成果を生かして、地域社会で積極的に活動しましょう。



北海道には、新渡戸稲造が創設した「遠友夜学校」がありました。

夜学校は、勉強したくとも機会に恵まれなかった若者たちを対象に、「新しい北海道をつくるための人材育成」を目的として、札幌農学校の教師や学生たちによるボランティアで支えられていたのです。

この取組は、まさに今日の生涯学習であり、北海道における生涯学習の胎動といえるのではないのでしょうか。

北海道には、こうした人材育成の風土と先人の思想が脈々と受け継がれています。

「住んでいることを誇りに思える、夢のある北海道」を創造するための鍵は、道民一人一人が「生涯学習活動」に積極的に取り組むことではないのでしょうか。

北海道生涯学習推進本部（事務局：北海道教育庁生涯学習部生涯学習課）

〒060-8544 北海道札幌市中央区北3条西7丁目

TEL 011-231-4111 (35-515~517)

FAX 011-281-1487

URL <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.jp/hk-sgsko/suishinhonbu/index.htm>

E-mail [kyoiku.seigaku1@pref.hokkaido.jp](mailto:kyoiku.seigaku1@pref.hokkaido.jp)

このリーフレットは、「第2次北海道生涯学習推進基本構想」のビジュアル版です



生涯学習のマスコット「マナビィ」

ご意見、ご質問などお気軽にお寄せください。

平成17年2月